

氏名	山本 英子	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	修士(保健学)				
学歴	2006年群馬大学大学院医学系研究科博士前期課程				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、14年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本助産学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本新生児看護学会、日本小児保健協会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、千葉看護学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 該当なし					
(3) 学会発表					
1 乳児をもつ母親の親子体操プログラムの継続状況とその要因	共著	第31回日本助産学会学術集会、徳島	○山本英子, 森美紀, 大月恵理子	2017.3	
2 模擬産婦を体験した助産師の評価	共著	第57回日本母性衛生学会、品川区	○山本英子, 鈴木幸子, 石井邦子, 大井けい子, 森美紀, 岡津愛子, 林ひろみ, 北川良子	2016.9	
3 分娩介助演習における模擬産婦の演技とフィードバックに関する評価.	共著	第57回日本母性衛生学会、品川区	○鈴木幸子, 石井邦子, 大井けい子, 山本英子, 森美紀, 林ひろみ, 北川良子	2016.9	
4 胎児心拍陣痛再生装置と模擬産婦を導入した分娩介助演習の効果	共著	第57回日本母性衛生学会、品川区	○岡津愛子, 鈴木幸子, 石井邦子, 大井けい子, 山本英子, 森美紀, 林ひろみ, 北川良子	2016.9	
5 改良版模擬産婦養成プログラムの評価ー試行版と改良版の参加者評価の比較ー	共著	第18回日本母性看護学会学術集会、久留米市	○林ひろみ, 鈴木幸子, 石井邦子, 大井けい子, 北川良子, 山本英子, 森美紀, 岡津愛子	2016.6	
(4) その他					
1 該当なし					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 埼玉県立大学奨励研究費(C)	両親学級に参加した夫婦の夫婦関係満足度と夫の関わり			2016.4～2017.3	
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 母性看護学Ⅱ	2016.11	女性の運動支援について、具体的な方法例をあげて説明した。			
2 母性看護学Ⅲ	2016.11	視聴覚教材等を用いて、分娩期にある対象者(母子・家族)のイメージ化や理解が深まるように講義を行った。			
3 周産期のケア	2016.10.	ガイドラインや研究結果、臨床での実際の説明も含めて講義を行った。			
4 分娩期のケア	2016.4～2016.8	助産師としてのキャリアデザインを意識し、診断・ケア技術能力が向上するよう講義を行った。自己学習用のe-learning教材を作成した。			

(2) 演習			
1	母性看護学Ⅲ	2016.11～2017.1	演習内容を自己学習で深められるよう視聴覚教材を作成、活用した。
2	周産期のケア	2016.10.	模擬妊婦となり、妊娠期の運動を実際に体験することで、具体的な運動内容・運動強度・留意点、運動による快感情等の理解を促した。
3	分娩期のケア	2016.4～2016.8	診断・ケア技術、コミュニケーション、チームワーク、自己評価の能力が向上するよう演習を行った。実習室の開放、指導担当教員の配置を行い、自己練習・学習の環境を整えた。
(3) 実習			
1	母性看護学実習	2016.5～2016.6	3年次生を対象に、産科病棟を使用して、実習指導を行った。産褥期・新生児期の変化、母乳育児支援、母子相互作用、退院後の生活について、とくに理解が深まるよう支援した。
2	総合実習	2016.7	4年次生の助産系学生を対象に、産科外来・病棟を使用して、3名の実習指導を行った。妊娠期から産褥期の継続性を意識し、個別性の高い看護が提供できるよう支援した。
3	助産学実習Ⅱ	2016.8～2016.10.	4年次生の助産系学生を対象に、産科病棟を使用して、3名の実習指導を行った。入院の判断から分娩介助まで実施し、継続性と個別性の視点をもてるよう支援した。
4	IPW実習	2016.10.	4年次生6名の施設担当・教員ファシリテータとして、学生が積極的な参加、活発な討議ができるよう関わった。
(4) 論文指導			
1	卒業研究	2016.3～2017.1	学部生4名の研究指導を行った。
(5) その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ 開催年月
1	ベビーマッサージ	越谷市児童館 ヒマワリ	ベビーマッサージ&エクササイズ ～親子で楽しくスキンシップ～ 2016.5～2016.10
2	子育て支援講座	認定NPO法人子 育て支援ワーカ ーズコレクティブ	育児期ママのエクササイズ～いつまでも輝き、 お子さまと一緒に楽しもう～ 2016.11.25
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学科 総務委員		
2	実習計画調整会議メンバー		
3	就職支援プロジェクトメンバー		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	SAITAMA Smile Womanフェスタ 2016への出展;「育児期ママのエクササイズ～いつまでも美しく、お子様と一緒に楽しもう～」 パネル、DVD作成		